

7 日本の資源・エネルギーと電力

○資源を輸入に頼る日本

- ()とは、工業の原料やエネルギー源となる鉱物や岩石などのこと
→世界の偏った地域に分布していることが多く、工業が盛んな国で大量に消費される傾向

日本の鉱産資源

1960年代：石炭や銅などの採掘

→埋蔵量が少なく、採掘に費用がかかるため、外国産の資源に頼るようになる

現在：鉱産資源を各国から輸入

- 〔 原油…西アジアの国々(サウジアラビアやアラブ首長国連邦など)
- 鉄鉱石・石炭…オーストラリアなど
- 〔 原油・天然ガス…ロシアと共にシベリヤやサハリンで開発

○生活を支える電力

日本の発電方式

→()が多かったが、()や()の割合が高まる

※()とは、水が落下する時のエネルギーを利用する発電方式のこと

()とは、石油や石炭などの化石燃料を利用する発電方式のこと

()とは、ウランを燃料とする発電方式のこと

火力発電の課題：()を引き起こす問題など

→原子力発電が推進されたが、福島第一原子力発電所の事故(2011)をきっかけに見直しへ

→日本では、()を利用した発電の拡大に期待

※()とは、太陽光や風力、地熱、バイオ燃料などの自然から得られるエネルギーのこと

○持続可能な社会に向けて

資源の少ない日本の取り組み

〔 再生可能エネルギーの活用

〔 資源の見直しや、()の技術の活用

→消費電力の少ない家電製品の利用、電気自動車の普及、積極的な()など

例) 不要なパソコンや携帯電話から()の回収、再利用

()の実現へ

→限りある資源を将来にわたって活用し、世界の国々と協力して環境に配慮する